

2014

8月号

あさお市民活動レポート

平成26年度麻生区地域課題対応事業

「あさお市民活動レポート」第2巻 第9号

発行日：平成26年8月1日

発行人：植木昌昭 編集人：佐々木直子



発行元：NPO法人あさお市民活動サポートセンター

目次

平成26年度 麻生区地域 コミュニティ活動支援事業	1
コーロ・ダンケ	2
映画で英会話	2
川崎洋蘭クラブ	3
虹の会	3
St.Marianna しんゆりリボンスハウス	4

公開プレゼンテーションの様子



虹の会

しんゆり
リボンス
ハウス

あらら企画

ソーシャル・
アーティスト・
ネットワーク

ちりりん座

麻生ふるさと
交流会

麻生区地域コミュニティ活動支援事業

NPO法人あさお市民活動サポートセンターが
麻生区から業務委託を受けて実施

平成20年度からはじまった同事業
の26年度公開プレゼンテーションが
5月29日に行われた。審査の結果、
今年度の地域コミュニティ活動支援

事業の団体は下記7団体に決定。助成
金が交付されることになった。

いずれも、地域コミュニティづくり
につながる事業で活動が期待される。

◆平成26年度 地域コミュニティ活動支援事業 【事業名・内容】	団体名
本はともだち 白山に開設された地域交流スペースと、閉館された「私設ゆりがおか児童図書館」の蔵書を有効利用し、人と人をつなぐ手段の一つである本を通じて、多世代間の交流を図り、新たなコミュニティ作りをはじめる。	虹の会
あきらめないで【がん治療】と【平凡な生活】 国民の二人に一人が生涯のうちに「がん」になる時代。早期発見とボランティアのサポートが、完治を目指し、地域で今までと同じ生活を可能にすることに貢献できる。その活動を区民に知ってもらおう。	しんゆり リボンスハウス
一基一会で広がる輪、囲碁であなたの脳にレボリユーション 囲碁への関心が大きくなっている。これまでやったことがない、少しかじった、といった方を対象に、囲碁を一から習い、友達を増やし、脳に刺激を与えることで、麻生区でいきいきと暮らす人の一助になりたい。	新百合囲碁キッズ
Let's go やまゆり！親子でenjoy music♪ 音楽を中心とした親子で楽しめるイベントを気軽にリーズナブルに提供出来るよう、地域の音楽仲間と毎月、趣向をこらして「やまゆり」を会場に企画運営していく。	あらら企画
音楽交流サロン【奏（かなで）】 川崎授産学園を活動拠点として、障がい者と地域住民との交流・相互理解を深めるイベントを実施し、障がい者の就労機会に関する地域啓発を進める。	ソーシャル・アーティ スト・ネットワーク
音楽朗読劇 【沖縄竜宮伝説・星の夢列車】 ニライカナイと呼ばれる沖縄の竜宮伝説をもとに、戦争をテーマとした音楽朗読劇を公演することで、地域の人々との文化芸術での交流をはかり、新ゆり芸術の街づくりに参画していきたい。	ちりりん座
麻生ふるさと交流会 懐かしいふるさとを語り合いながら親睦と交流を深め、新しいコミュニティづくりを通して地域の活性化をはかる。将来的には、県人会組織の立ち上げに寄与することを目指したい。	麻生ふるさと交流 会

コーロ・ダンケ

歌が大好き♪ 届けたい、魅惑のハーモニー

練習が終わり、くつろいだ様子の皆さん
(2014. 6. 7 白山いこいの家にて)

若々しい歌声を響かせる、シルバー男性コーラグループ。週1回、地元のいこいの家で、練習に励んでいる。活動のきっかけは、3年前の新ゆり悠々クラブの新年会で、頼まれて5人で歌ったこと。評判がよかったのに自信を持ち、もっとうまくなりたいと練習をするうちに、会員も増えた。指導者は、合唱団のピアノ演奏が専門の木谷充子先生。練習を見学に訪れたのが縁で、教わっている。

日頃の練習は、体をほぐすストレッチにはじまり、発声練習のあと、歌の練習を行なう。大きな声を出すので健康にもよく、ストレス解消にもなる。

途中の休憩時間には、ワイワイ、ガヤガヤと話も弾み、歌におしゃべりに楽しい会である。各自の声に応じて、トップテナー、セカンドテナー、バリトン、バスの4グループに分かれ、ハーモニーに磨きをかける。

練習の成果は、老人ホームの慰問や麻生市民館のステージなどで発揮する。6月25日には、麻生老人クラブ連合会主催の演芸大会に出演し、参加36団体の歌の部でトリをつとめ、ひととき大きな声援を得た。

今後の抱負は、会員を30名に増やして、川崎市や麻生区の合唱連盟に加入し、発表の場を広げることである。歌の好きな方は大歓迎。是非連絡を。

(注記) コーロ：イタリア語でコーラス
ダンケ：ドイツ語でありがとう

取材・文 中島久幸



ダンディな蝶ネクタイでピシッと決め
若者たち、乾杯など4曲で聴衆を魅了した
(2014年6月25日 市民館大ホールでの演芸大会)

コーロ・ダンケ

代 表：石垣英樹

連絡先：☎044-980-1080

設 立：2011年1月15日

会 員：20名(全員男性、60～90歳代)

会 費：1000円/月

入会費：1000円

活動日：毎週土曜 10～12時

活動場所：白山、百合ヶ丘、王禅寺いこいの家

◎会員募集中！ 60歳以上

映画で英会話 English Through the Movies

映画の名セリフ 生きた英会話にぴったり

映画が好き、英語も好きという仲間が集まったサークル(教室)「映画で英会話」。映画を楽しみながら、スクリプト(台本)を教材に英会話を勉強している。

講師の野崎さんは「映画のストーリーや場面を思い浮かべてセリフを勉強しますから、会話が頭に残り覚えやすいです。映画の舞台背景にある文化や歴史を学ぶことも楽しみのひとつですよ」と、教室の魅力を話してくれた。

ある活動日に、教室をのぞいてみた。映画は自宅で鑑賞し、ここでは、スクリプトのリスニングとスピーキングの勉強。



ひとクラス10名程度のクラスに分けて、相互ミーティングに多くの時間を割いている。俳優の役に分けて、ロールプレイすることもある。

教材は『ミッドナイト・イン・パリ』

1枚目のプリントが配られた。覚えておきたい、いくつかのセリフを復習。

次のプリントは、自宅で勉強してきた英語のスクリプト。生徒が読み、日本語に訳す。she's in bed with a bad oyster、まさか、牡蠣と一緒に寝ている?と、先生。(笑い) 生徒が「彼女は牡蠣にあたって寝込んでいるわ」と、ぴったりのセリフに訳した。学習は in bed with や oyster を使った例文まで及ぶ。

最後に、次回の学習スクリプトをテープで聞く。そのセリフの英語プリントが配られた。訳してくるのは宿題となる。

記者の頭にも、いくつかのセリフが残った。「映画のセリフは日常的な会話ですから、身につくのでしょーね」と野崎さんは、学習法に自信を見せた。興味のある方、見学をおすすめです。

取材・文 石崎純也



一本の映画を10ヶ月かけて学ぶ。秋からの教材は『幸せへのキセキ』を予定。

映画で英会話

代 表：野崎淑子(講師)

連絡先：☎080-5652-5083

e-mail y-nozaki@h08.itscom.net

設 立：1998年2月

会 員：35名(女性33名 男性2名)

入会金：なし

会 費：3000円/月(3回)

活動日：毎週水曜(9時30分～16時)

(午前・2クラス/午後・2クラス
/各回1時間20分)

活動場所：麻生市民館 ほか

◎会員募集中！ 随時見学・入会OK



副会長の挨拶で例会がはじまった

クラブの例会（2014年6月）におじゃました。会場中央の広いテーブルの上は百花繚乱、持ちよりの洋蘭46鉢が並び、ふくいくとした香りが漂ってくる。40代から80代までの男女22人が集まっていた。

例会のハイライトは互選による作品の人気投票。今回の1位は成田さん。苦心して交配した作品だ。人気投票のあとは栽培指導、株の即売会と楽しみは続く。

この道40年の副会長浅田光さんに洋蘭の魅力をきいてみた。「エキゾチックで神秘的な美しさでしょう。間口は広く、奥は深いんですよ」。

このクラブは新百合ヶ丘街づくりの功労者で、自らも愛好家中島豪

川崎洋蘭クラブ

まか不思議な美しさ 洋蘭

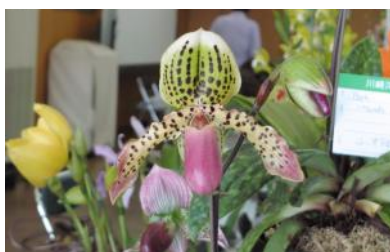
一氏により街おこしの一助として設立された。新ゆり地域文化活動の草分け的存在だ。例年4月にはOPAで、10月には「あさお区民まつり」で展示会を開催する。メンバーのなかには2月に東京ドームで開催される「世界らん展」などにも、個人の資格で出品するひともある。

事務局の小疇さんによると、皆さん友人と会う時など、窓辺に咲いた小鉢を手土産にすることもあるのだそう。

自家栽培の洋蘭を手土産に・・・

なんともおしゃれですね。

取材・文 飯田保幸



珍しい株。持ち主の山本さんがアルルカン（道化師）と命名



人気投票で二位に輝いた成田さんと自慢の作品

川崎洋蘭クラブ

代 表：中島豪一

連絡先：小疇禮子（こあぜ れいこ）

☎&Fax 044-988-1384

設 立：1982年7月

会 員：43名（男性23名、女性20名）

入会金：なし

会 費：6000円／年

例会参加費1000円／回

活動日：毎月第3土曜 13時30分～16時

活動場所：山口台会館

虹の会

白山こども図書館“ほんの森”から世界の旅へ

本年4月、旧白山中学校跡地に白山愛児園がオープンした。児童養護施設と地域交流、地域の子育て支援を目的とした総合児童福祉施設である。

ここの地域交流スペースには虹の会が運営する「白山こども図書館“ほんの森”」があり、約6000冊の児童図書が子どもたちを待っている。

白山愛児園の施設長霜倉博文さんは、子どもたちが「本を通じて豊かな大人になってほしい」と願う。

その想いは、地域交流スペースを活動拠点として活動する虹の会の想い「子どもたちに、本の楽しみを伝えたい。子どもたちが本の森に入り世界の旅をして欲しい、生きる力を得て欲しい」に繋がる。

虹の会の子どもたちは、自分たちの活動を「なかよしクラブ」と名づけ「一日こども図書館」「子どもお話し会」

「親子読書会」などで本と親しむ。好きな本をもとに、みんなで話し合っ「人形劇」や「パネルシアター」などを創作し発表する。

本を通じて、子どもと子ども、お母さんお父さんとの交流が生まれる。さらに、その活動を支援する地域の人々との交流が生まれ、本を中心に人の輪が広がる。夢が広がる。“ほんの森”は、地域の子どもたちに気軽に訪ねて欲しいと待っている。

取材・文 吉田清次



「子どもお話し会」

小さい子が読むのを小学生が自然にサポート



ブラックパネル「まっくらネリノ」を発表 シニア世代をも魅了。
(2014年6月1日 やまゆり「ビバ!・かがやく子どもたち」)

虹の会

代 表：吉澤登子

連絡先：副代表 米倉由布子

☎090-4128-5647 (10～16時)

e-mail yuri-niji@msn.com

設 立：2012年3月※

会 員：運営メンバー6名

サポートメンバー 約40名

活動日：毎週火曜 10時15分～12時15分

木曜または金曜 13～15時

隔週土曜

活動場所：白山愛児園 ほか

(※前身組織「子どものための図書館活動を考える会」は2011年8月に発足)

ペンとカメラを携えて
記者が行く行く
今日も行く



“救われるべき人”に出会いたい



乳がんの治療と生活をつなぐ地域の支えあい活動

「St.Mariannaしんゆりリボンズハウス」は、乳がん患者さんが、住み慣れた場所で、少しでも快適な生活を送れるよう「不安と不便」に寄り添う支えあい活動をしている。

例えば「治療に便利な洋服」「脱毛」「ウィッグ」「爪の変色」「歯科治療」などのデリケートな問題には、ピンクリボンアドバイザー（民間資格）が、良質で正確な医療情報と地域に根ざした生活情報を提供し、患者さんの前向きな気持ちに伝える。また、迷いと不安の中で混乱している患者さんには、心を整えて治療に向き合えるようピアサポートを行う。

イベント活動として、10月の「あさお区民まつり」「やまゆり健康見本市」に参加を予定している。乳がん触診モデルの体験と検診への呼びかけ・ユニバーサルデザイン製品の

展示が主な内容。イベント活動は、たくさんの“救われるべき人”と巡り合える場であり、『ひとりで困っていないで、お互いに思い合い、支えあいましょう』というメッセージを発信できる絶好の機会でもある。

このメッセージに込めた思いを、副会長の栗橋さんは、自らの体験を重ねて語る。『退院後、地域で暮らしながら治療を続けるには、知らないこと・困ったことが多すぎて、ひとりで途方に暮れていた。あの辛い生活を誰にもさせたくない。出会った人みんなを救いたい。ひとりとして困ることのない時代が必ず来ると信じ、活動していく』と。

この決意と覚悟が“乳がん治療と日常生活をつなぐ架け橋”となる。

取材・文 落合ふみこ



イベントで、セルフチェックポイントを体験。パートナーと一緒に参加する男性もいる



触診モデルには、大小いくつものしこりが仕込まれている。実際のしこりの感触がわかる



セント・マリアナ
キャンサーリボンズ St. Marianna

しんゆりリボンズハウス

会長：福田護（医師）

副会長：栗橋登志（乳がん体験者）

連絡先：☎070-5553-5707

設立：2011年8月

会員：18名（男性5名 女性13名）

活動日：毎月第2火曜（定期）

イベント年間8回（不定期）

活動場所：聖マリアナ医科大学
ブレストイメージングセンター

<http://shinyuri-ribbonz.com/>

Information

取材申込受け付けます！



●取材申込受け付けます！

「活動を紹介して欲しい」「イベントを取材して！」そんな声に区民記者が応えます。お申し込んだ内容については編集会議で可否を検討したうえ、改めてご連絡させていただきます。

●応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤者が活動に参加している。

●申し込み方法

1. 団体名
2. 代表者名
3. 連絡先（電話・FAX・メール）
4. 活動内容（イベントの場合は開催日時・料金・内容）を、「あさお区民記者」宛てにFAXまたはメールでご連絡ください。

FAX.044-951-6467

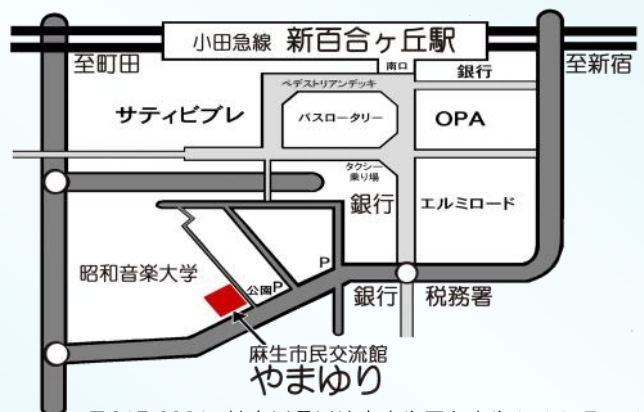
Mail info@asao-ku.net

※但し、選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。

あさお区民記者

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。

<http://www.asao-ku.net>



〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5

Tel.044-951-6321 Fax.044-951-6467

URL <http://web-asao.jp/yamayuri/>

Access 小田急線「新百合ヶ丘駅」南口から徒歩4分